



1 課題

東広島市内のため池数は県内自治体で最多であり、ため池等の農業水利用施設の点検・状況把握において、人手不足、災害発生時の迅速な状況把握及び安全性の観点で課題がある。

2 概要

農業水利用施設の自動点検に向けたドローンの点検体制の構築による業務効率化・省人化、安全化を図る。

大学

筑紫 彰太
 近畿大学
 工学部ロボティクス学科 講師

市担当課

×

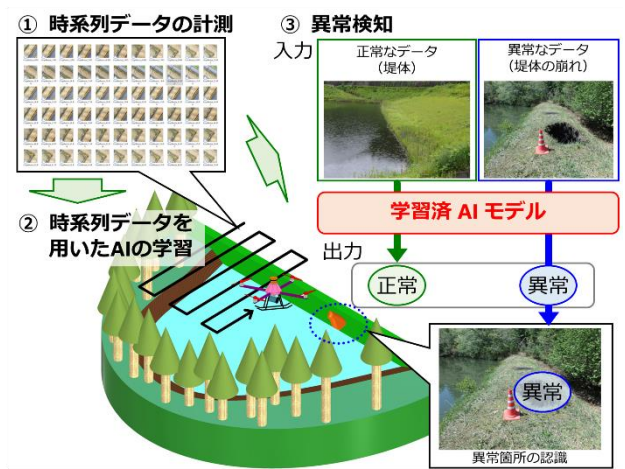
産業部

農林整備課

関係機関

×

赤防株式会社



▲研究イメージ

現在の状況（令和7年5月末時点）

（単位：箇所）

内訳	ため池数
防災重点農業用ため池	1,641
防災重点農業用ため池以外	1,864
合計	3,505

※箇所数については、現場状況などを県・市が確認し、随時変更している。

▲東広島市にあるため池の内訳

3 到達目標・方法

- (1) マルチモーダルセンサ情報を用いた異常（堤体崩れ）検知手法の構築
- (2) スペクトル画像を用いた異常（堤体水漏れ）検知手法の構築
- (3) 計測情報に基づいたドローンでの自動点検手法の構築